

賴光朝臣被進馬於東二条殿事

※※※訳の引用・スクリーンショットなどは、作品名及び本サイトのURL（月下庵／<https://gekkaanzentaiheiki.wixsite.com/mysite>）をご記載いただけましたらご自由にしていただいて結構です。※※※

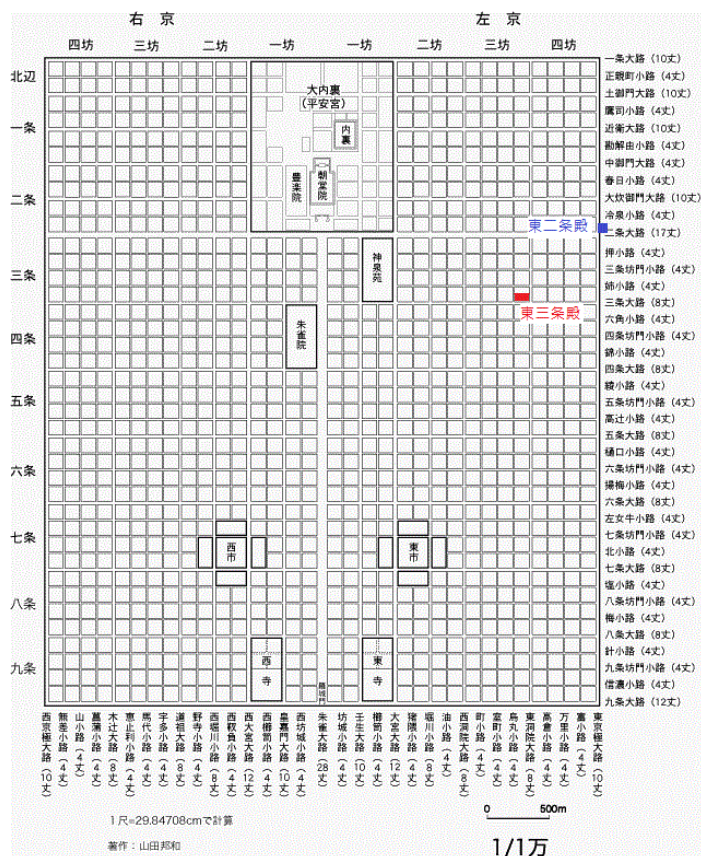
鐙・尻繫・轡・面懸・胸懸・鼻革_(伍)まで、金銀に真珠や玉を飾ってあるので、御殿の内外に輝きみちて、「今回の贈り物は、これに勝る壮観はない」と、皆肩を押しあいながら見物する。すぐに三公から始め、それぞれこれをご配分になる。こうしてその夜明けごろに宴は終わって、それぞれ住まいに帰ったのだった。

注釈

※壺・三条大路の北、東洞院大路の西……図 1 参照。

※貳・二条大宮の北、京極大路の東……図 1 参照。

< 図 1 >



※こちらの図は「平安京探偵団 (<http://homepage-nifty.com/heiankyo/>)」様より拝借し、加工いたしました。(2021/2 修正)

※※※訳の引用・スクリーンショットなどは、作品名及び本サイトのURL (月下庵/<https://gekkaanzentaiheiki.wixsite.com/mysite>) をご記載いただけましたらご自由にさせていただいて結構です。※※※

※参・三公……太政大臣・左大臣・右大臣のこと、もしくは左大臣・右大臣・内大臣。

※肆・白葦毛、黒葦毛～……以下参照。

〈本文中登場する馬の種類について〉

本話に登場した馬の毛色で、調べられる限りのものを以下にまとめる。

1. 葦毛

「原毛色は栗毛、鹿毛または青毛などであるが、被毛（体の表面の短い毛）全体に白色毛が混ざり、年齢が進むにつれて白色の度合いが強くなる」（a, 169 頁より）とされる。白馬。



(d, 20 頁より)

- (1) 白葦毛……白毛の多く混ざった葦毛。
- (2) 黒葦毛……黒みを帯びた葦毛。
- (3) 虎毛に見える連銭葦毛……「虎毛」は「淡い黒地に虎の毛色のような斑点」のある馬で、「連銭葦毛」は「葦毛に銭を並べたような灰白色のまだら模様」のある馬。つまり、連銭葦毛のまだら模様が虎毛のように見える馬ということか。
- (4) 月葦毛……不明。
- (5) 星葦毛……葦毛に灰色の円形の斑点のまじったもの。
- (6) 鼠葦毛……鼠葦毛は分からなかったが、鼠毛は鼠色の毛色の馬。
- (7) 葦花毛……黄色のまじった葦毛。

2. 栗毛

「被毛は黄金色から赤褐色まで色合いに濃淡がある。まえがみ、たてがみ、尾毛などの長毛は濃いものがあるが黒くはない」（a, 168 頁より）、また「基礎毛色の赤色が現出しておるもの」（b, 8 頁より）。



(d, 20 頁より)

- (8) 紅梅栗毛……栗毛の薄く赤みをおびているもの。
- (9) 縮栗毛……不明。
- (10) 柑子栗毛……不明。
- (11) 姫栗毛……不明。

3. 黒毛

毛が黒色の馬。

- (12) 黒緑……艶のある黒い毛の馬で、光線を受けて緑に見える馬。
- (13) 烏黒……カラスのように真黒な毛並みの馬。
- (14) 純黒……黒毛の馬のころ。
- (15) 碧黒毛……不明。

4. 鹿毛

「被毛の色は明るい金色から赤味がかった褐色までである。まえがみ、たてがみ、尾毛などの長毛と四肢の下部は黒色」 (a, 168 頁より)



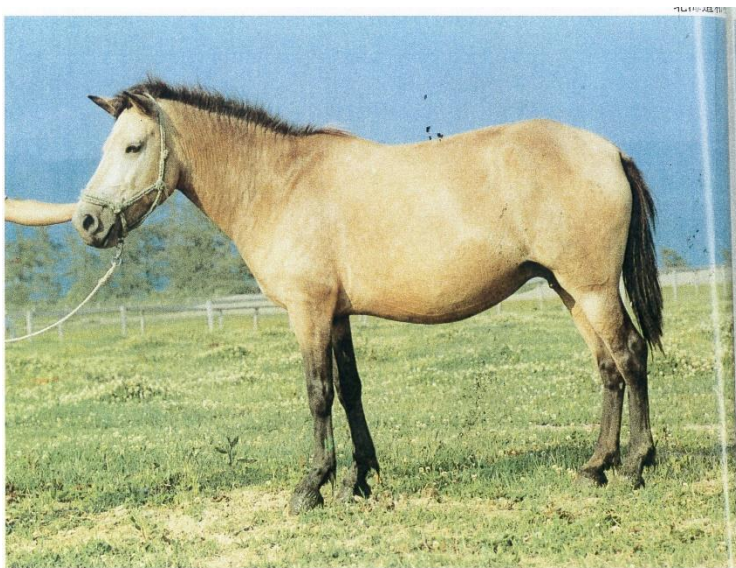
(d, 20 頁より)

- (16) 黒鹿毛……黒みがかった赤褐色。
- (17) 白鹿毛……白色が黄ばんだ毛色。
- (18) 赤鹿毛……赤みがかった茶褐色。
- (19) 黄鹿毛……不明。黄色がかった褐色か。
- (20) 花鹿毛……不明。

- (21) 猿毛馬……猿の毛に似た色で、鼠色にも見える。

5. 川原毛

「被毛は淡い黄褐色から艶のない亜麻色まであって長毛と四肢は黒色で鰻線（背すじに現れる色の濃い線）の現れるものもある」 (c, 23 頁より)



(c, 22 頁より)

- (22) 鴨川原毛……頭部は黒褐色で、たてがみ、尾、脚の黒いもの。

(23) 黄川原毛……黄色がかった川原毛。

(24) 黒川原毛……全身が黒みがかった薄茶色。

6. 駢毛

「体に大きな白斑のあるもの。原毛色により黒駢毛、鹿駢毛、青駢毛という」 (c, 27 頁)



(c, 26 頁より)

(25) 黒駢……地が黒色でブチのあるもの。

(26) 鹿駢……不明。上記のことを参考にすると、鹿毛の特徴のある駢毛ということか。

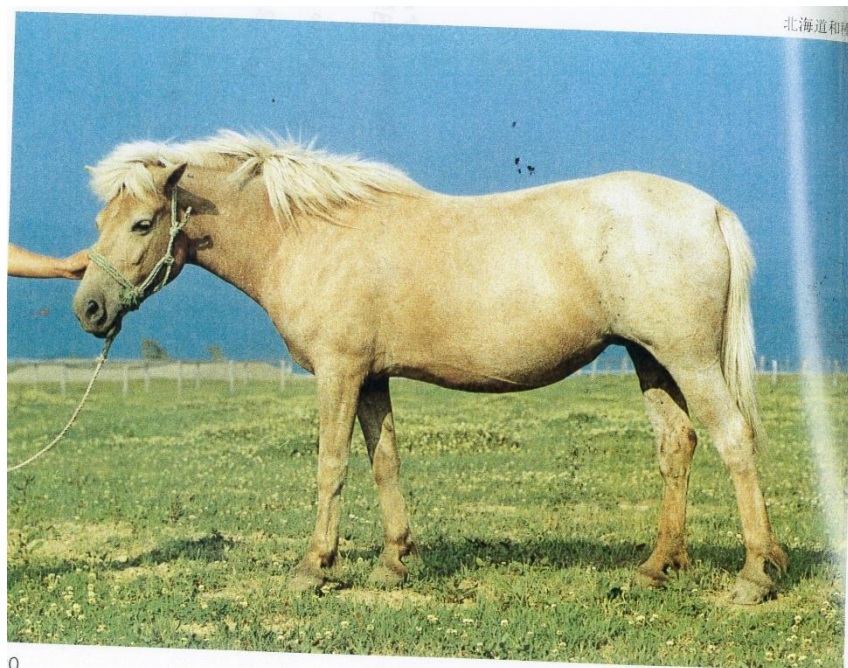
(27) 四足白……脚先が白い馬ということか。

(28) 落星の馬……額に星のような形の模様がある馬か。

(29) 月額…額に白いまだら毛のあるもの。

7. 月毛

「被毛はクリーム色から淡い黄白色のものまであり長毛は被毛と同色から白色に近いものまでである」 (c, 27 頁より)



(c, 20 頁より)

(30) 宿月毛……赤褐色を帯びた月毛。

(31) 姫月毛……不明。

(32) 赤月毛……赤みを帯びた月毛。

(33) 雲雀毛……黄と白のまだらで、たてがみと尾と背の中央部とが黒い馬。

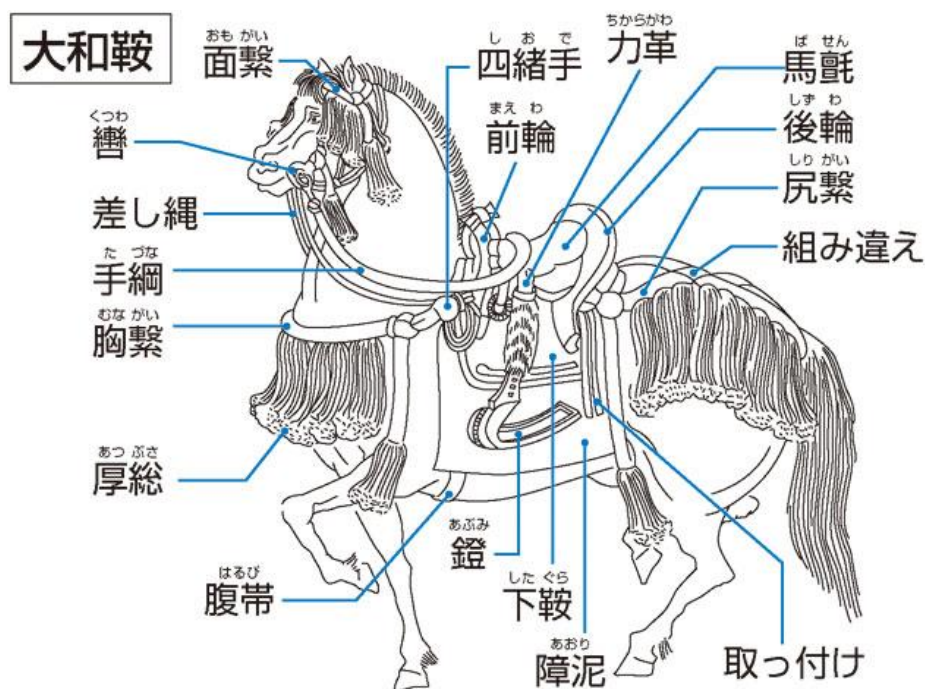
「四足白」、「落星の馬」、「月額」は、それらの特徴を馬たちがもっているということで、全30頭の馬がそろっているということではないか。

参考文献

- (a) 日本中央競馬会競馬学校『馬学』下巻 昭和62年
- (b) 久合田勉編『馬学外貌編』日本中央競馬会 弘済会 昭和7年
- (c) (財)日本軽種馬登録協会『馬の毛色と特徴』昭和54年
- (d) 鈴木荘夫『漢字百活<馬・牛・羊の部> 馬・牛・羊事典』大修館書店 平成元年
- (e) 小学館国語辞典編集部編(2000)『日本国語大辞典』第二版 小学館
- (f) 新村出編(1998)『広辞苑』第五版 岩波書店

※伍・鞍・鐙・尻繫・轡・面懸・胸懸・鼻革……下図参照。

※※※訳の引用・スクリーンショットなどは、作品名及び本サイトのURL (月下庵/<https://gekkaanzentaiheiki.wixsite.com/mysite>) をご記載いただけましたらご自由にさせていただいて結構です。※※※



(こちらの図はこちら (<https://kotobank.jp/word/%E5%B0%BB%E7%B9%8B-80946>) (2021/3/1 閲覧) から拝借しました)

馬の毛色を調べるのきつい……(ー_ー;)

JRAの施設で毛色について詳細を調べてみましたがやはりどうしても限界がありますね…悔しいです。もしも文中に登場する毛色に該当する実在の馬をご存知の方いらっしゃいましたらご一報ください。

しかし、調査にご協力いただきましたGate J.の皆さま、本当にありがとうございました！

感想・指摘・叱咤激励、随時受け付けております。Twitter やメール等でご連絡ください m(__)m

公開：2018/8/20

改訂：2021/3

海熊童子